

IT革命への国の政策

目次

- IT革命とは . . .
- 日本のIT革命の歴史
- IT基本法とは . . .
- e-Japan戦略、e-Japan戦略II、e-Japan戦略加速化パッケージ
- IT政策パッケージ-2005
- u-Japan政策
- まとめ

IT革命とは . . .

- ・まず『IT』とは、**Information Technology** の略で、情報技術のことを指します。
- ・『IT革命』とは、インターネットを通して、消費者や企業が世界中の情報を簡単に低いコストで入手できるようになり、それによって**経済・社会に大きな変革**
が起きることを言います。インターネットが商業化された1995年以降に加速していきました。

日本のIT革命の歴史

・ 1970年代～

基本技術開発に支えられたエレクトロニクス技術・通信技術の急速な発展(高度情報化現象)によって、工業化社会から情報化社会へと移行していく。

・ 1990年代前半～

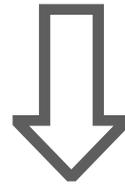
PC機能の高度化、ネットワーク接続により複雑で高度な作業が可能になり、インターネットにより情報化が加速。瞬時に双方向での大量の情報交換が可能になる。

・ 1990年代後半～

バブル崩壊と平成不況により、IT投資に消極的になり、IT革命の波に乗り遅れてしまう。

→国際競争力の低下につながり、米国どころか東南アジア諸国諸地域とも遅れをとってしまう。

この出来事から
日本政府がIT革命に乗り出
す



IT基本法

IT基本法とは . . .

概要 . . . 2000年11月「高度情報通信ネットワーク社会形成基本法」（IT基本法）が成立し、2001年1月から施行される。

定義 . . . ITを駆使して国民がネットワーク通信の利便性を享受できる環境形成と、創造的で活力のある社会の確立を実現するための理念。

目的 . . . 世界規模で生じているIT革命に緊急に対処し、高度情報通信社会の形成を迅速かつ重点的に推進することを目的としている。

e-Japan戦略

・ e-Japan戦略とは . . .

IT基本法により設置されたIT戦略によって2001年1月に取りまとめられた戦略のことを指す。



IT基本法の目的を実現するため、2005年までに世界最先端のIT国家となることを目標に、基本理念と重点政策分野を示した。

e-Japan戦略目標

- 1.超高速ネットワークインフラ整備（2005年まで）
- 2.電子商取引の促進（2002年まで）
- 3.電子政府の実現（2003年まで）
- 4.人材育成の強化（2005年まで）

e-Japan戦略II (2004年～u -Japanに名称変更された)

インフラの整備は順調に進む一方、行政の効率性の分野では 未だ国際的に遅れており、ITインフラだけでなく経営全般の 改革・推進が課題になっていく。

インフラを活用し、国民が便利さを実感できる
仕組みをつくることを重視した戦略を練る。

戦略の対象となった7つの分野

- 医療
- 食
- 生活
- 中小企業金融
- 知
- 就労・労働
- 行政サービス

e-Japan戦略II加速化パッケージ

2004年から問題点と最優先の施策を明確にすることを重要視することに。また、各負傷の連携を一層強化し、取り組むようになった。

→行政の効率化、IT活用で国民の利便性の向上などを図る。

● IT政策パッケージ-2005

目標に向けてのラストスパート
＋
引き続き世界最先端であり続けるため

2004年の時よりもIT利用と活用を一層進め、国民がITの変化
・ ありがたさを実感できる社会の実現に向けて取り組むことを
目標にしている。

u-Japan政策

2006年以降に到来した本格的な少子高齢化社会を解決するには、ICTの活用が切り札になると期待されている。

そのため、総務省はユビキタスネット社会を視野に2004年にu-Japan政策を考案。



2010年をターゲットにし、次世代ICT社会の明確化とその実現に向けて必要な政策パッケージをつくる。

実現のためには...

U-Japan政策を実現させるには、「ユビキタス・ネットワークの整備」・「ICT利活用の高度化」・「利用環境の整備」の三本柱が重要になっていきます

。

u-Japan政策は次の性質を備えた次世代ICT社会である

1, ubiquitous (ユビキタス)

- ・ あらゆる人やモノが結びつく

2, universal (ユニバーサル)

- ・ 人に優しい心と心のふれあい

3, user-oriented (ユーザーオリエンテッド)

- ・ 利用者の視点が溶け込む

4, unique (ユニーク)

- ・ 個性がある活力が湧き上がる



まとめ

1990年代の相次ぐ不況によってIT革命の波に乗り遅れてしまった日本だが、そこからのe-Japan戦略を始めとした様々な政策により、今では世界先端のITを誇るまでになった。

また、それだけでは留まらず日々政策を練って進化し続けている。